

主な目次

# 婦人少年局月報

## Monthly Bulletin W. M. B., L. M.

- メリヤス女子労働者の特性
- 街頭に働く年少者の保護はどうなつてゐるか
- 農村婦人の生活を高める特用活動について
- 働く年少者保護の標語募集
- 働きながら学ぶ年少者の体格について
- 婦人問題懇談会
- 海外ニユース
- 海員室から

メリヤス女子労働者、婦人少年局でかねてから継続してきたせんい産業女子労働者の実態調査の中、メリヤス工場についての調査の一部がまとまりましたので、その中から二、三の事実をお知らせします。

調査対象は常用労働者五人以上三〇人未満の小工場ばかり二〇〇、女子労働者一、五四二人、関東地区、中京地区、関東地区におけるメリヤス業の盛んな九県です。

これら小企業のメリヤス女子労働者には、大勵精工場の女子労働者とは異つた色々な特色があります。

第一に、小メリヤス工場では婦人の労働力を大部分、地元の県で求めているということです。住つて、女子労働者は四五年以上が工場所在県内の出身者です。これと関連して大半が通勤労働者で、住込み（又は寄宿舎住まい）は僅か二〇名にすぎません。

その故か、他のせんい女子労働者に比べて未婚の割合が少く（約六四%）、夫のあるものの一七%未亡人、離別者などが一五%もあります（註、縫紉業女子労働者は未婚九四%）。しかし、これら既婚者の中、学齢前の子供を持つているものは一七%です。母や姉妹が留守の間子供は

**労働者の特性**

みでくれておられるのです。

この様に既婚婦人が多いので、年齢も紡績工場の様に二十才未満が大半を占めるという様な事ではなく、二十才未満は四割にすぎず、比較的年齢の高い婦人が多くて、約二割は四十才以上の人達です。

これらの婦人達は学校を経えてすぐに入りやる工場に就職したといらんはむしろ少く約二割にすぎず、家において裁縫に從事していた（又は家庭の手伝をしていた）といらるものが多く、四割余をしめています。つまり、家庭婦人であつたものが何かの事情で働きに出でたものと云えます。

その就職理由をみると、その八〇%以上が家計を助けるために働きに出でています。それに對し、隣人住度のためと答えたものは、紡績業女子労働者が三〇%であるのに比べて、メリヤス工場では一〇%余です。

では、どの程度、家計を助けているでしょうか。自ら稼ぐ族を数ついる人（一〇%）、自分で独立して些許を貯んでいる人（五%）を除けば、ほとんど大部分（七七%）が大体は一月一面、定期的に家に金を入れています。

この人達が一九五二年二月に家に入れた金額は二、六〇円五円です。當時の通勤者の手取給与

街頭に働く年少保護はどう  
靴磨、新聞売をはじめ花売、  
納豆売などをして街頭で働く少年少女に対しては労働基準法の適用を受けたる者を除けば從業者として保護の手は差しのべられていませんでした。  
労働者導入少年局で行つた調査によつてこれら少年少女の労働の実態が明らかにされるにつれて好ましくない労働環境、労働條件から、かれらを保護する必要が痛感されるに至りました。そしてこの問題についても大蔵から導入少年問題審議会に対しても時間があり、同審議会から紹介がなされました。  
この答申にもとづき種々検討された結果当面の措置として児童労働法の改正によることが適当であると考え厚生省によってその見直しを希望しておきましたところ児童労働法の改正案は今国会に提出されその成立をみました。  
この改正法は七月一日公布され街頭労働保護の部分は九月一日から施行されます。  
街頭労働保護については児童労働法第三十四条の禁止行為の中に新たに次の項目が加えられました。  
○児童に午後十時から午前三時までの間、戸戸について又は道路その他これに準ずる場所で物品の販売、配布、展示若しくは販賣者としての業務を行ふ。  
○戸戸について又は道路その他これに準ずる場所で物品の販売、配布、展示若しくは販賣

街頭に働く年少者の

保護はどうなつてゐるか

前の平均は四、二七五円ですか  
これから家に入れた金額を一千労働者の手許にのせるにと  
て引くと平均で一八〇円が女

差引くと平均一六七〇円が女子労働者の手許にのるととに

### 勞 勤 力 調 (1952年5月)

（前位平人）

産業別	総数	女子		新規中に占める女子の割合		女子雇用者数の年々の増減率	
		数	率	数	率	前年と比較	年と比較
労働者	39,010	16,020	41	16,020	41	+ 1,030	+ 980
自給農業	38,520	15,840	41	15,840	41	+ 70	+ 620
自家農業	10,310	2,090	20	2,090	20	+ 70	+ 300
林業	14,240	9,860	69	9,860	69	+ 0	+ 30
水産業	13,970	3,890	28	3,890	28	+ 3.8	+ 30
農業	430	150	35	150	35	+ 0	+ 50
林業	240	0	0	0	0	+ 0	+ 30
水産業	600	100	17	100	17	+ 2.6	+ 30
農業	930	120	13	120	13	+ 3.1	+ 30
林業	4,980	1,620	33	1,620	33	+ 41.6	+ 240
水産業	2,050	660	32	660	32	+ 17.0	+ 50
建設業	1,750	200	11	200	11	+ 5.1	+ 10
製造業	1,910	860	45	860	45	+ 23.1	+ 30
販賣業	1,090	180	17	180	17	+ 4.6	+ 10
施設業	490	180	37	180	37	+ 50	+ 50
小売業							
卸売業							
運送業							
不動産業							
賃貸業							
公							

## 農村婦人の生活を高める

### 特別活動について

農村の法制の改正によって、日本婦人の生活や立場にも種々の変化が見られ、農村婦人の地位も以前よりは高まっているといえます。しかし都市の婦人に比べると、未だ社会の進歩から取残された存在であるといふことができますよ。

労働省婦人少年局では毎秋、「働く年少者の保護運動」を行っていますが、本年もこの運動を行うに当つて「働く年少者保護の語」を左記規定によつて選舉することとなりました。

下さる。

## 働く年少者保護の語

### 募集規定

#### 一、内容

#### 二、年度運動目標

#### 三、年少労働者を正しい労働時間で働かせる

#### 四、年少労働者に安全健康な職場を与える

#### 五、年少労働者を正しく保護する

#### 六、年少労働者を適切な位置に配置する

#### 七、賞金

#### 八、発表

#### 九、選考

#### 十、参考

#### 十一、年齢

#### 十二、用紙

#### 十三、所

#### 十四、年齢

#### 十五、年齢

#### 十六、年齢

#### 十七、年齢

#### 十八、年齢

#### 十九、年齢

#### 二十、年齢

月にかけて、全国の地方職員室を単位として、婦人問題連絡調査会等を通じて行います。

この運動のための資料として

リーフレット、壁新聞等を発行

しますが、この期間中に第三次

農村婦人生活実態調査を全国的

に実施することになります。

婦人少年局では、学びながら

働く年少者（高等学校定期試験生徒）の体位について調査し

ましたが、その概要は次のとお

ります。

男子についてみますと、一五

才では年少労働者の方が学生の

身長より〇・三cm低くなっています。

一六才から一七才は一・

三cmから、一五四cmも低くなつ

ています。女子についても同様

に年少労働者の身長は学生より

低くなつていて、その差は一五

才では〇・二cm、一六才から一

七才は〇・五cmから〇・六cmで

あります。女子についても同様

に年少労働者の身長は学生より

低くなつていて、その差は一五

才では〇・一cm、一六才から一

七才は〇・三cmから〇・五cmで

あります。

男子年少労働者は、一五才で

すでに一・三cmも学生の平均胸

囲より狭く、一六才から一七才

は、二・一cmから二・五cmも狭

くなっています。女子は男子ほど

は学生と同じですが、一六才か

ら一七才は〇・四cmから〇・五

cmも学生の胸囲より狭くなつて

います。

三、坐高について

この項でも学生の平均よりは

確かに低いといふ結果があらわ

っています。その差は、男子に

ついては一五才は一・七

cmから一七才は二・九cmか

ら一七才は二・一cmの差となっ

ています。

以上述べてきました様に、年

少者は学生の発育状況より異

なっていますが、体重につけて

も同様に学生の平均体重より悪

い結果を示しています。即ちそ

の差は、男子においては一五

才で〇・七kg、一六才から一七才

は〇・五kgから一・九kgで、年齢

とともに重くなると同時に、

年四月現在小中学校をあわせて

二五万人（文部省調）ですが、そ

れだけです。男子にくらべると數

少ない点は確かに少ないのです

が、その過半と活躍は今後につ

いています。

山梨の七名、群馬の六名、

福島の五名などと並んで、

國で一二二名です。（日教組調）

府県別にみると新潟、大阪の

名が最高で次いで兵庫の九名

の中、校長の地位にあるのは全

ての校長の地位にあります。

山梨の七名、群馬の六名、

福島の五名などと並んで、

國で一二二名です。（日教組調）

府県別にみると新潟、大阪の

名が最高で次いで兵庫の九名

の中



